

# 2026年7月期 中間期 決算補足資料

2026年3月30日

 **株式会社 稲葉製作所**

証券コード：3421

(東証スタンダード市場)



# 2026年7月期 中間期の業績等について

トピックス（新製品・納入事例等）

【ご参考】 会社概要

## 業績サマリー

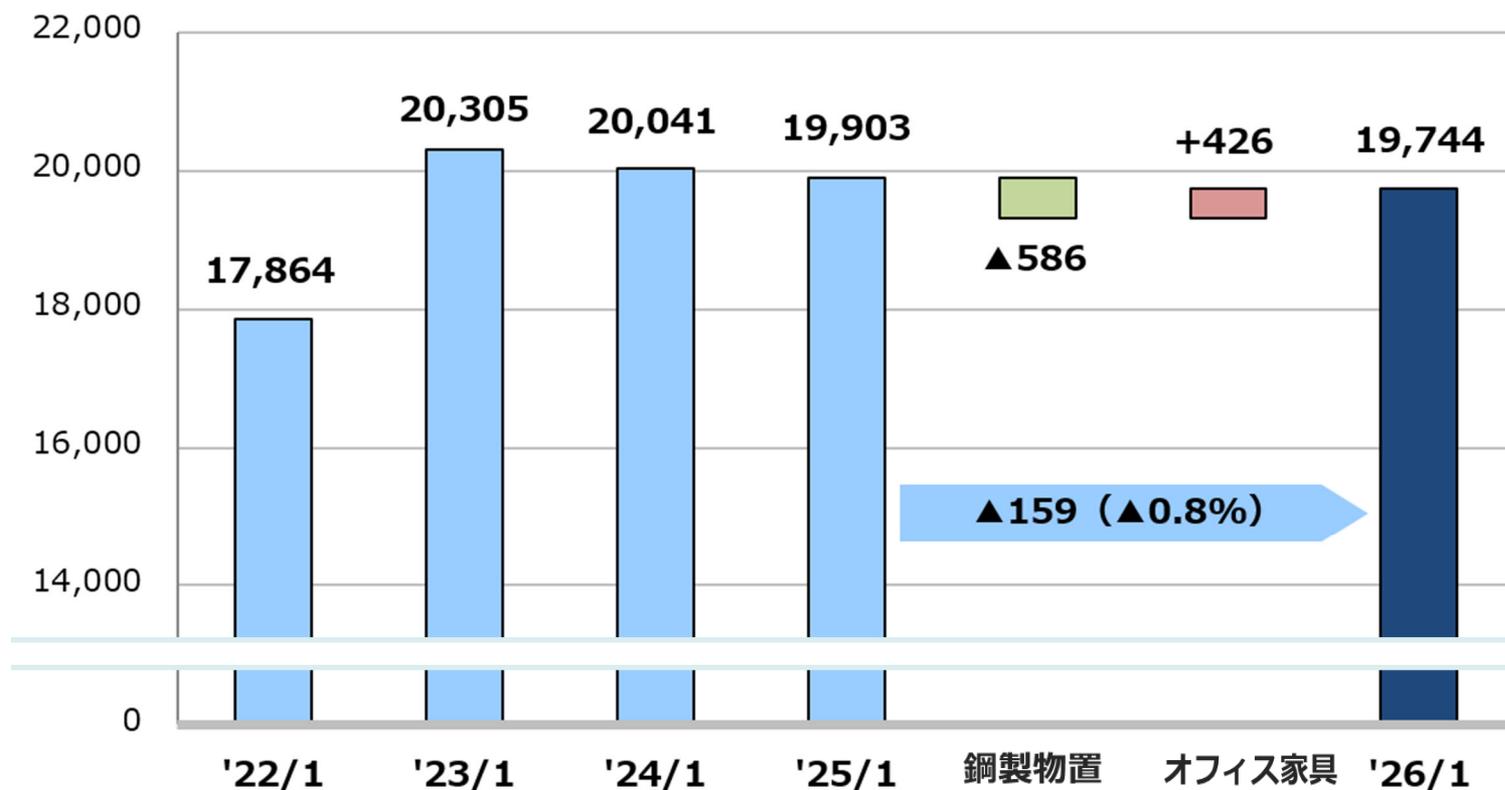
(単位:百万円)	2025/7期 中間		2026/7期 中間			
		対売上比		対売上比	前期比	
売上高	19,903	100.0%	19,744	100.0%	▲159	▲0.8%
鋼製物置	14,192	71.3%	13,606	68.9%	▲586	▲4.1%
オフィス家具	5,711	28.7%	6,138	31.1%	+426	+7.5%
売上総利益	4,648	23.4%	4,789	24.3%	+141	+3.0%
償却前営業利益	1,502	7.5%	1,472	7.5%	▲29	▲2.0%
営業利益	534	2.7%	637	3.2%	+103	+19.4%
経常利益	701	3.5%	831	4.2%	+130	+18.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	440	2.2%	621	3.1%	+181	+41.1%

# 連結売上高

- ・ 鋼製物置セグメントは ▲4.1% (減収)
- ・ オフィス家具セグメントは +7.5% (増収)
- ・ 全体では ▲0.8% (減収)

## 連結売上高推移

(単位：百万円)

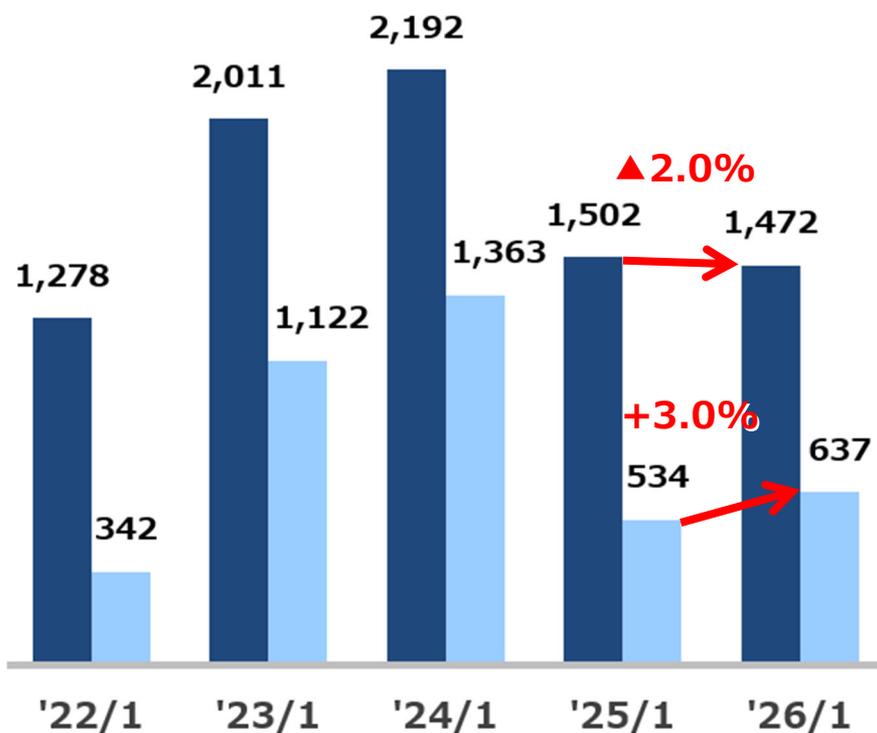


# 連結営業利益・償却前営業利益

- ・ 営業利益は +3.0% (増益)
- ・ 償却前営業利益は ▲2.0% (減益)

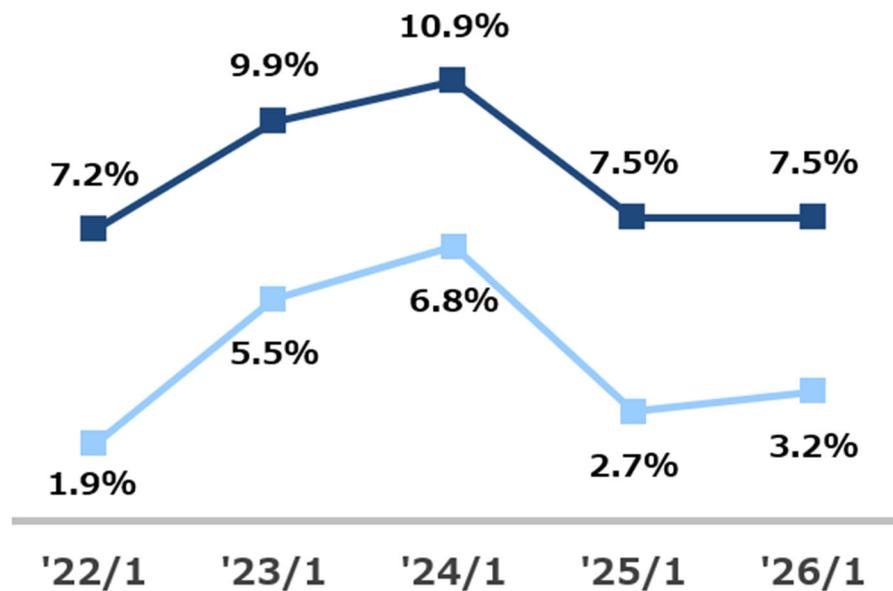
■ 償却前営業利益  
■ 営業利益

(単位：百万円)



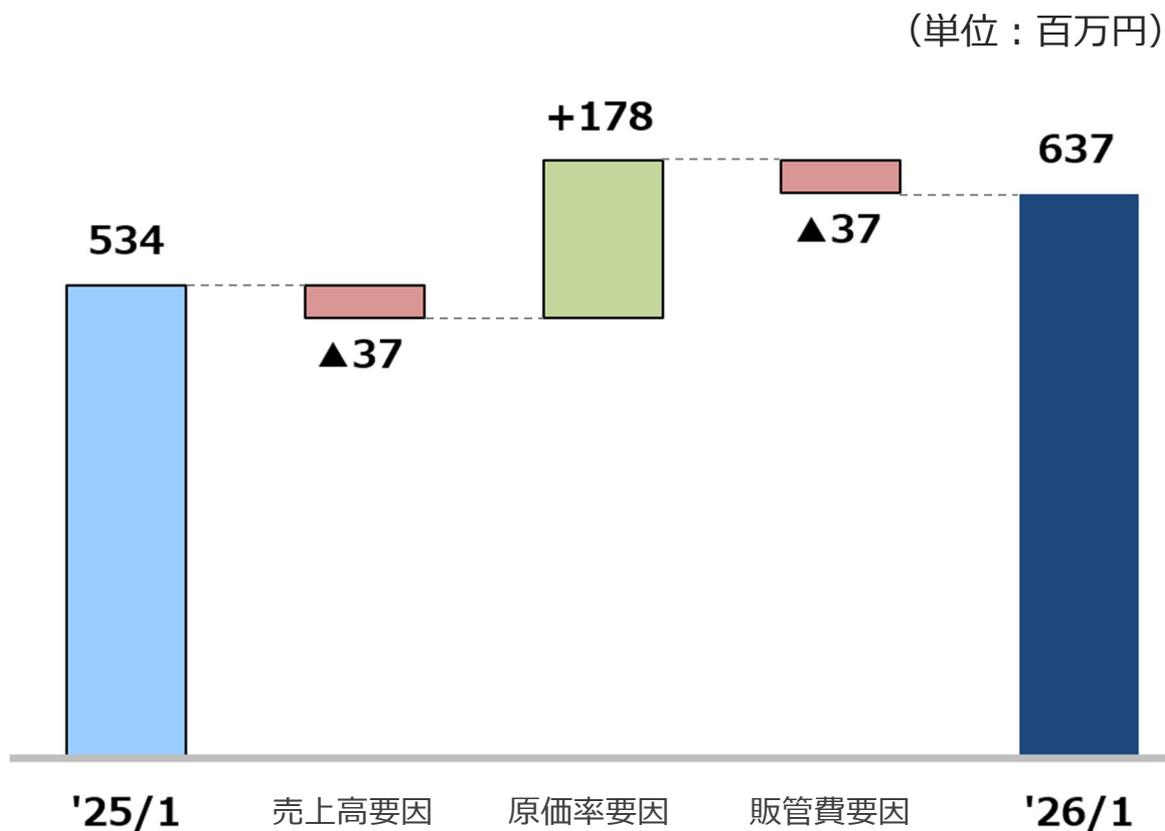
■ 売上高償却前営業利益率  
■ 売上高営業利益率

(単位：%)



## 連結営業利益 前期比増減要因

- ・ 売上高の減少： 37百万円の減益要因
- ・ 原価率の改善： 178百万円の増益要因
- ・ 販管費の増加： 37百万円の減益要因

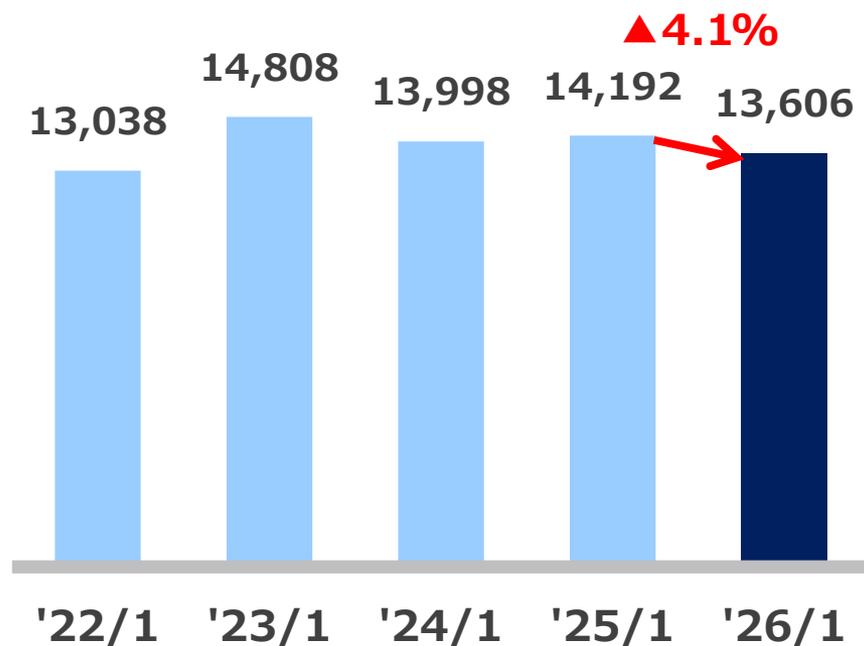


# 鋼製物置セグメント

- ・住宅着工が資材価格の高騰や人的資源不足などの原因から不安定な状況が続き需要が減少
- ・物価上昇の継続による個人消費の伸び悩みの影響を受け、需要は弱含み。
- ・自然災害の増加などリスクへの備えが重視される中、指定建築材料を使用した製品（FORTA）などの販売が堅調に推移。
- ・強みである大量生産による供給力とサイズバリエーションの豊富さを活かし短納期対応に努め、需要確保に取り組んだ。

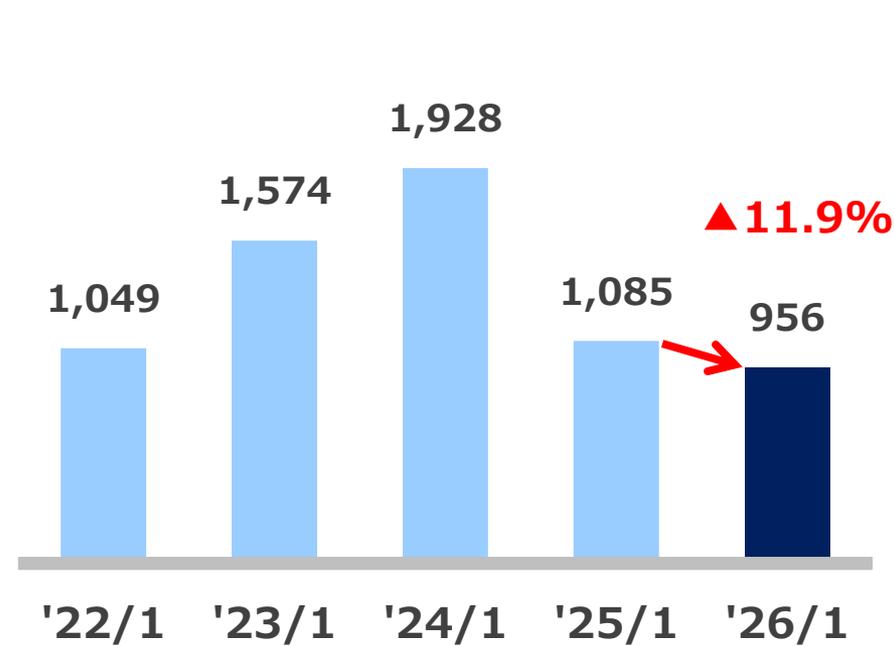
## セグメント売上高

(単位：百万円)



## セグメント利益

(単位：百万円)

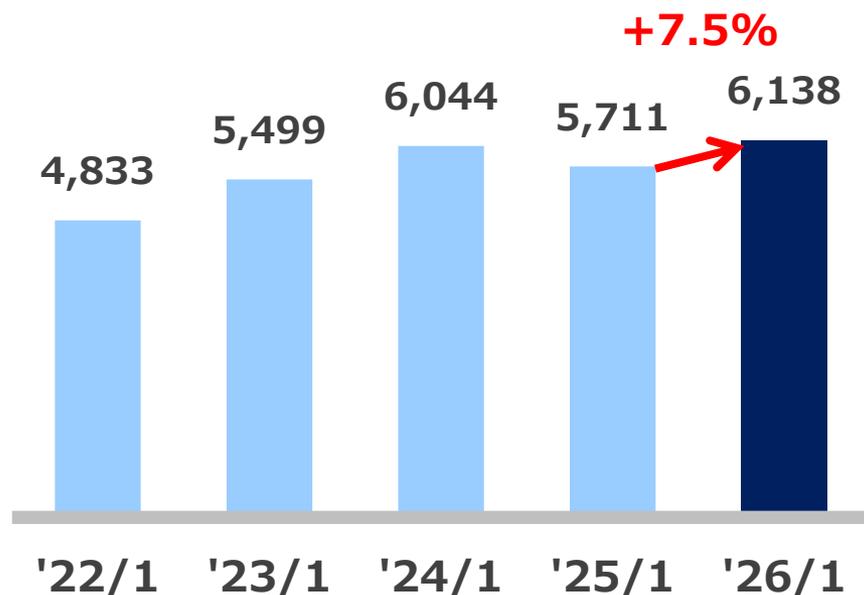


# オフィス家具セグメント

- ・コミュニケーションの活性化を図るオープンオフィス化や人材確保などにつながるオフィス移転・改装は増加しており、オフィス環境の見直し需要は好調に推移。
- ・積極的な提案営業により受注の積上げに取り組んだ。

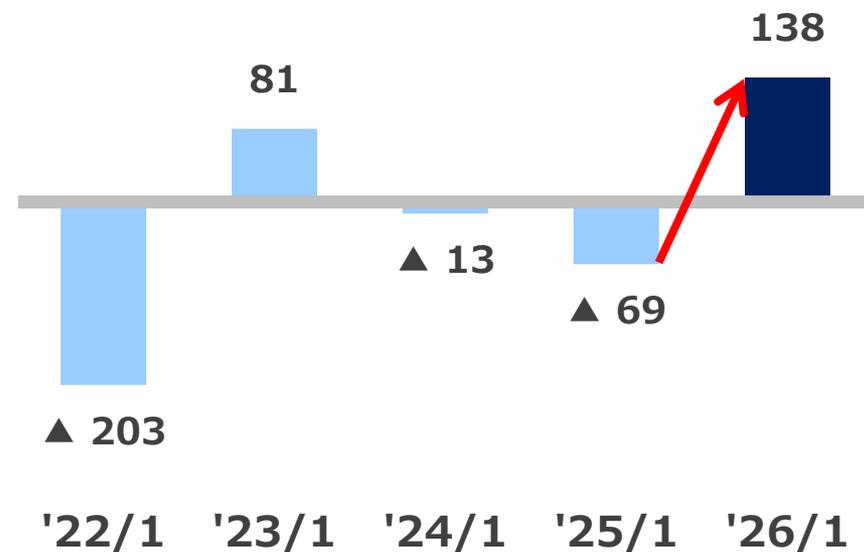
## セグメント売上高

(単位：百万円)



## セグメント損益

(単位：百万円)



※売上高には、セグメント間の内部売上が含まれているため、業績サマリー（2ページ）の数値と必ずしも一致しません

# 通期は当初予想を据え置き

- ・鋼製物置事業では、物価上昇の継続に伴い個人消費が振るわず、耐久消費財である鋼製物置の需要は弱含み推移を見込むが、建築対応製品の顧客認知度を着実に市場浸透させることを目指す
- ・オフィス家具事業では、コミュニケーションの活性化や人材確保のため、オフィスの移転・改装需要は引き続き好調推移を見込む
- ・諸資材・部品の価格高騰やエネルギーコスト等の増加が見込まれるが、引き続き生産・物流コスト削減に努める

(単位:百万円)	2025/07期		2026/07期		
	実績	対売上比	予想	対売上比	前年比
売上高	41,905	100.0%	42,850	100.0%	+2.3%
営業利益	1,865	4.5%	2,460	5.7%	+31.9%
経常利益	2,197	5.2%	2,800	6.5%	+27.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,546	3.7%	1,870	4.4%	+20.9%

# 配当は年間44円を予定。3月に自己株式取得実施

持続的な利益成長と企業価値向上につながる設備投資を優先的に行うことが株主共通の利益に資すると考えておりますが、設備投資、内部留保、業績等を勘案し、弾力的に決定してまいります。

## 配当

- ・安定的な配当の継続と事業年度ごとの業績を勘案して決定する方針
- ・2026年7月期の配当  
 中間配当：22円  
 期末配当：22円（予定）  
 合計：44円（予定）

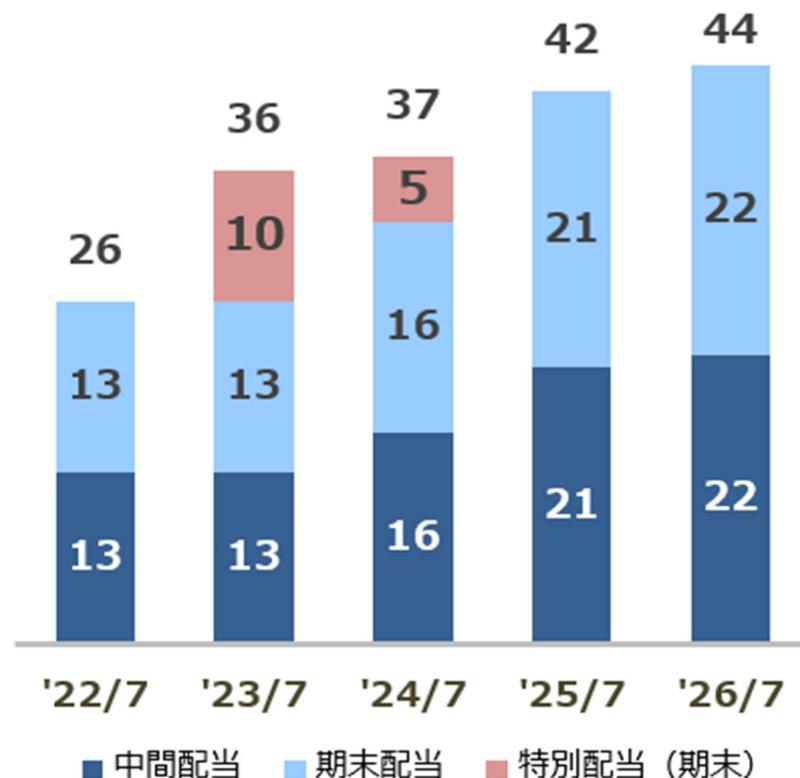
## 自己株式取得

- ・自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により取得  
 取得日：2026年3月16日  
 取得株数：175,000株※  
 取得総額：295,400,000円

※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合  
1.09%

## 配当金額の推移

（単位：円）



**2026年7月期 中間期の業績等について**

**トピックス（新製品等）**

**【ご参考】 会社概要**

# 建築対応製品「FORTA」が支持されています

フォルタ  
**FORTA**

- ・ 指定建築材料を使用した頑丈な物置
- ・ 製品説明会や物置勉強会の開催などにより、顧客認知度の向上に取り組む



# 鋼製物置セグメント新製品



床付タイプ

## ARCIAFIT

アルシアフィット

洗練された佇まいとカラーリング。  
優れた防犯性を備えたデザイナーズバイクガレージ。

2026年1月、  
「床付きタイプ」と「連棟タイプ」を追加。



連棟タイプ



## 宅配BOX （2026年2月発売）

上段は宅配ボックス、下段は収納庫。

共働き家庭の玄関まわりに、もうひとつの安心を。  
宅配ボックスと小型物置をひとつにまとめ、  
暮らしの効率と見た目の美しさを両立。

雨にも風にも負けない、頼れるイナバ品質。  
イナバがつくる“長く使える安心”を、玄関にも。

# オフィス家具セグメント 新製品

## SoWel

- ・長時間でも疲れにくい設計と落ち着きある色合い・質感
- ・働く空間に自然に馴染み、くつろぎながらも集中できる環境をサポート

(2026年1月発売)



## OPEN SHELF GL

空間を区切らずに、整える。  
開放感のある多機能パーティション。  
「オープンシェルフGL」を  
2026年1月に発売

## WideDesk +

- ・シンプルだからどこでも使える。  
コストパフォーマンスに優れた大型連結デスク

(2025年11月発売)



## NOMUDA

薄さ27mm  
省スペース設計の  
折りたたみテーブル。

2026年1月、  
奥行600mmタイプと  
高さ330mmタイプを  
新たに追加。

**2026年7月期 中間期の業績等について**

**トピックス（新製品・納入事例等）**

**【ご参考】 会社概要**

# 会社概要

社名	株式会社稲葉製作所（英文名：INABA SEISAKUSHO Co., Ltd.）		
代表者	代表取締役社長 稲葉 裕次郎		
本社	〒146-8543 東京都大田区矢口2丁目5番25号		
創業・設立	【創業】1940年4月【設立】1950年11月		
資本金	11億3,204万8,500円（2026年1月31日現在）		
事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで		
上場	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：3421）		
従業員数	【単体】838名【連結】1,074名（2026年1月31日現在）		
事業内容	オフィス家具・物置の製造、販売		
事業拠点	工場：3 営業所：9 配送センター：22		
連結子会社	イナバイインターナショナル株式会社 イナバクリエイト株式会社 株式会社共進	当社ウェブサイト 	インスタグラム 
URL	<a href="https://www.inaba-ss.co.jp/">https://www.inaba-ss.co.jp/</a>		

# 創業以来「モノづくり」にこだわり続けて成長

**1940年**

創業者稲葉庄市が  
プレス加工業を創業



**1950年**

株式会社稲葉製作所  
設立

**1961年**

オフィス家具  
生産開始



**1968年**

犬山工場（愛知県）  
開設

**1975年**

イナバ物置  
生産開始



**1987年**

「100人乗っても大丈夫！」  
CMスタート



**1988年**

柏工場（千葉県）  
開設

**2000年**

東京証券取引所上場



**2013年**

イナバ富岡メガソーラー  
発電開始



**2016年**

富岡工場（群馬県）  
開設

**2025年**

イナバ物置  
発売50周年

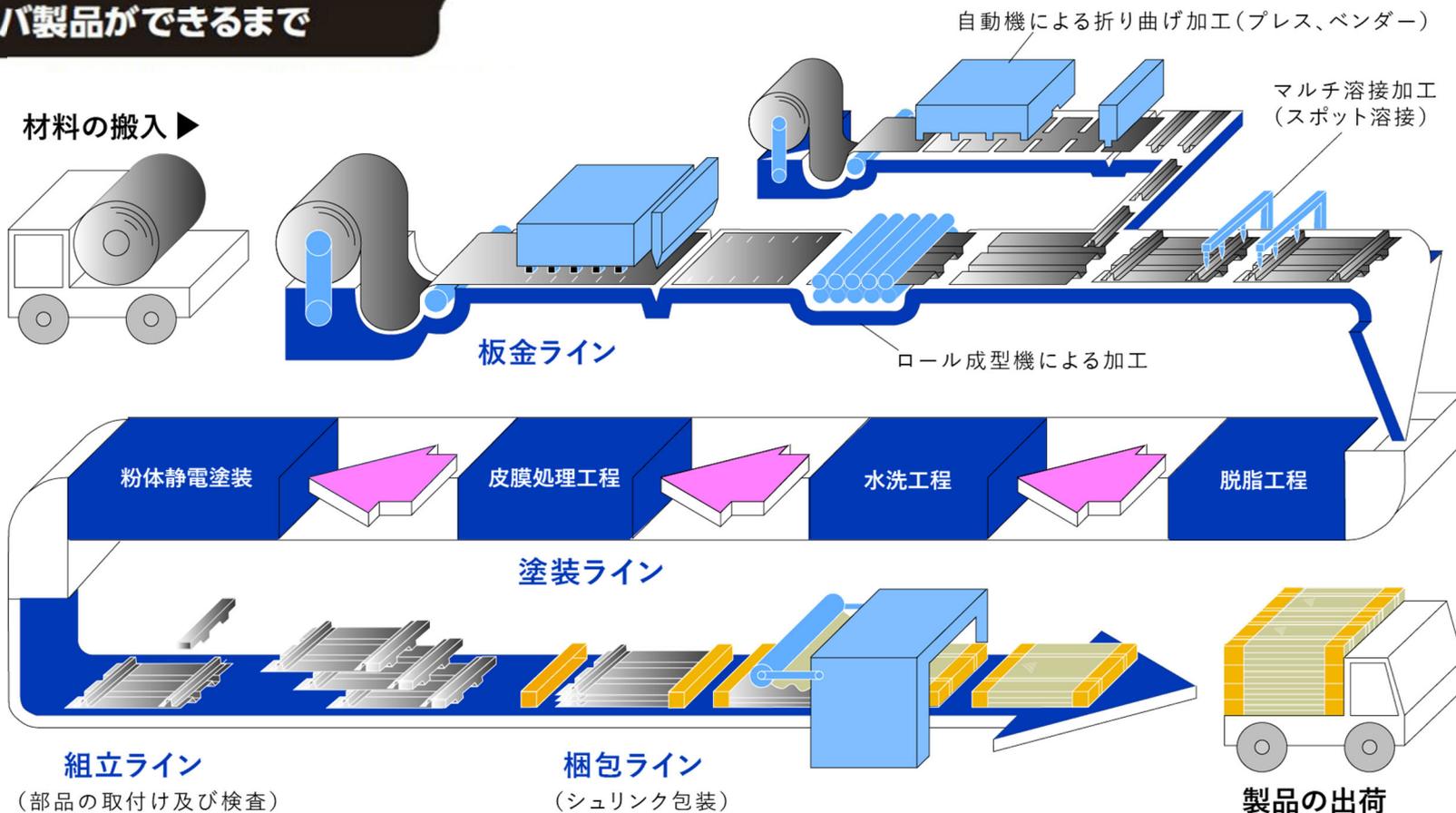


# 材料切断～梱包まで一貫生産。高品質と低コストを両立

高い自社生産比率が、  
ハイコストパフォーマンスを具現化します。

イナバの製造に関する内製比率は極めて高く、90%強となっています。メーカーから直接搬入されるコイル、アルミ素材など原料の加工から最終検品まで、すべて自社で一貫して製品化する体制がとられています。また、加工専用機械や金型製作、ライン編成、塗装設備等も自社で設計、製作。徹底的に合理化が図られていますので、コストの削減に寄与した、高品質な製品を提供することができます。

## イナバ製品ができるまで



# 鋼製物置セグメント ラインアップ①

## イナバ物置

### 小型物置

ドア型収納庫



**アイビーストッカー**  
BJX Type

タイヤ収納庫



**タイヤストッカー**  
BJX-T Type

収納庫



**シンプリー**  
MJX / MJX-F Type

二重構造収納庫



**ナイソーシスター**  
KMW Type

### 中型物置

断熱構造物置



**ナイソー**  
SMK Type

断熱材付物置



**FORTA+**  
フォルタプラス  
FP Type

中型物置



**FORTA**  
フォルタ  
FS Type

屋根傾斜変更物置



**FORTA**  
フォルタ  
FK Type

縦長大型物置



**FORTA 縦長大型**  
フォルタ  
FT Type

大型物置



**FORTA 大型**  
フォルタ  
FB Type

開放スペース併設物置



**FORTAwith**  
フォルタwith  
FW Type

シャッター物置



**ドローール**  
フォルタwith  
FF Type

### パブリック（公共）スペース向け製品

連続型物置



**FORTA 連続型**  
フォルタ  
FD / FL Type

ゴミ保管庫



**ダストボックス**  
FS / FF Type

ゴミ保管庫



**dustbox mini**  
ダストボックスミニ  
DBN / DCN Type

自転車置場



**イナバ自転車置場**  
BP / BT / BYX / BM /  
BFX Type

# 鋼製物置セグメント ラインアップ②

イナバ倉庫

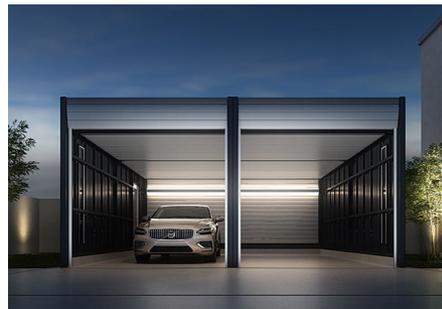


**イナバ倉庫**

ガレージ



タフ レージ  
**TAFRAGE**



**ARCIA**  
アルシア



ガレーディア  
**GARADIA**

マルチスペース



como space  
コモ・スペース

バイクガレージ



**バイク保管庫**



**ARCIA FIT**  
アルシアフィット

# オフィス家具セグメント ラインアップ①

## デスク/テーブル



WideDesk +



Telio



Leggero



Frei  
Multi Connect Deck



Novie 2

## 折りたたみテーブル



DuENA  
Standard Desk Series



NOMUDA



Wagon シリーズ



Open Wagon

## オフィスチェア



SoWel



Xair



Yera



Swin

# オフィス家具セグメント ラインアップ②

## サイレントブース



VIAROOM

## ローパーテーション

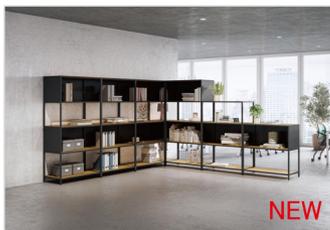


YURT



FSR PANEL

## 収納家具等



OPEN SHELF GL

NEW



Line Unit TF



iprea

## 防災対策



Sona



BCPキャビネット

# 厳しい独自の品質管理

## 社内での独自試験

- ・ 厳しい基準の独自試験を社内実施
- ・ 試験機器なども自社で制作
- ・ 自社で試験場を保有し、  
様々な気象条件下で耐久性をテスト

## 品質向上委員会

- ・ 各部門から役員も参加し毎月開催
- ・ 製品の開梱から組立まで行い、  
組立のプロセスや完成品の品質を検証



棚板荷重試験



雨水試験

# 信頼を深める「イナバファン」づくり

代理店様・販売店様との相互理解を深めるためのイベントを毎年開催。強固な販売ネットワークを構築。

## 代理店会

- ・代理店様とのコミュニケーション
- ・毎年この機会にCMを撮影

## 物置勉強会

- ・販売員様を対象とした研修
- ・累計参加人数は延べ9万人超

## 物置組立競技会

- ・組立職人様の技能向上
- ・より良い製品開発へのフィードバック

## 施工セミナー

- ・各地で小規模に多数回開催



組立競技会の特集動画を公開中！

- ・YouTube公式チャンネル



- ・Instagram公式アカウント



## 将来に関する記述等について

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2026年3月30日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2026年3月30日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。